



議会だより

かどがわ



消防出初め式
(海浜公園)



中山神社 裸参り



成人式 (総合文化会館)

12月定例会	2 p
総括意見・条例	3 p
一般質問	4 p

平成18年2月
NO. 105

一般会計補正予算

1億1219万8千円可決

(前年: 1億323万2千円)

12月定例議会

今回の補正は、一般会計では1億1,219万8千円を追加し、予算総額を63億3,005万1千円とするものであり、国民健康保険事業特別会計・介護保険事業特別会計は予算の総額に変更なく、予算の組替えをするものであります。

平成17年度第4回定例会は、12月13日から21日までの9日間。今会議においては、条例・規約等の改正18件・補正3件が審議され、それぞれ承認・可決されました。今回の議会においては、全ての議案を全員で勉強会を行い、各常任委員会付託を省略して、本会議において可決されました。12月14日の一般質問では、8名の議員が登壇し、町政運営について論戦を行いました。



一般会計補正予算

歳入の主なもの	
町税	6,900万円
町債	2,060万円
国支出金	4,823万円等を追加 (繰入金5,000万円を減額)
歳出の主なものは	
町民歌等のCD製作	291万円
花とみどりのまちづくり事業	211万円
老人福祉事業	300万円
児童措置事業	1,677万円
門川中学校体育館実施設計及び耐力度調査委託事業	1,225万円
農業用施設災害復旧事業	864万円
河川等災害復旧事業	4,021万円
等を追加補正するものであります。	

12月21日の最終本会議

一般会計補正予算等、本会議に提案されました諸議案に対して、多くの議員が質疑を行いました。次号からは、本会議についての質疑・応答について編集する方向であります。

☆議会運営の効率化の面から今会期中には常任委員会を開かなかつたことから次回からは会期中に常任委員会を開きたいとの声がありました。



総括意見

今会議では条例に関する事項として、仁久志地区農業用施設災害復旧事業に関する分担金徴収条例の制定、町所有の施設の管理者に関する条例の新たな制定と、門川町火災予防条例の一部改正の合計3件でした。

自治体間の協議事項として、日向地区夜間小児急患センターの廃止の協議と、それに伴う事務委託の廃止の協議、また、県内の市町村合併による町村名の名称の変更などの事務手続き及び協議事項の全15件です。

一般会計補正予算につきましては、歳入歳出それぞれ1億1,219万8,000円を追加し、総額63億3,005万1,000円としました。主なものと

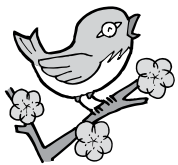


議案勉強会

日向地区小児夜間急患センターの廃止とそれともなう事務委託の廃止
研修医制度の法改正等により医師の確保ができなくなり、延岡市夜間

1月1日
・南郷村、西郷村、北郷村が新設村等合併で美郷町となる。
・田野町、佐土原町、高岡町が宮崎市へ編入合併。
・山之口町、高城町、山田町、高

2月20日
・北方町、北浦町が延岡市と新設村等合併。
2月25日
・東郷町が日向市へ編入合併。
3月30日
・須木村が小林市と新設村等合併。
日向入郷地域視聴覚教育協議会の廃止に関する協議
(原案可決)



ましては道路橋梁及び災害復旧事業、門川中学校体育館改善事業です。今回も6月定例会同様、議会運営の効率化と全議員が予算内容の理解を深めるため、案件を委員会付託とせず議員全員による勉強会としました。本会議におきましては、勉強会での執行の説明について更なる質疑が活発に行われ、審議の結果すべての案件が議

決されました。一般質問につきましても、8名の議員が登壇し、熱の入った論戦が繰り広げられました。なかなか先の見えない経済情勢の中、多くの税収も見込めず、国、県からの交付税も期待できない今こそ、「力がないなら知恵を出せ、お金がないなら汗をかく」これこそ必要であると感じています。

条例

町所有の施設の管理者に関する条例
町の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上、経費節減を図ることを目的とする。
(原案可決)

町火災予防条例の一部改正
住民における防災安全対策の充実強化を目的とする。
(原案可決)

日向地区小児夜間急患センターの廃止とそれともなう事務委託の廃止
研修医制度の法改正等により医師の確保ができなくなり、延岡市夜間

急患センターにおいて小児夜間救急医療を開設。
(原案可決)

仁久志地区農業用施設災害復旧事業徴収条例
(原案可決)

市町村合併による町村名の名称変更、数の増減、宮崎県町村総合事務組合の脱退及び加入、又規約の一部改正
(原案可決)



地球温暖化対策について

黒木 義秋

町長：「バイオマス都市構想策定」

町長 地方公共団体における地球温暖化対策の推進、門川町地域省エネルギービジョンを策定した。両ビジョン門川町の太陽光発電システムハイブリット街路灯など公共施設の新エネルギー省エネルギー設備を積極的に導入し、環境基本条例を踏まえたバイ

問 地方公共団体における地球温暖化対策の推進、町でも地球温暖化対策推進のため、ビジョンがあり門川中や個人住宅などに太陽熱が利用されているが今後多目的に推進してはどうか。

一つはバイオマスの活用。そしてさらに拡大は。

二つは自然エネルギーの利用。乙島を「自然エネルギー」の島にしたらいかがなものですか。

バイオマス研究などを計画的に進めている。地球温暖化防止のため取り組みについて町広報やホームページで情報を提供している。バイオマス研究の総合的な活用は地球温暖化の防止循環型社会の形成などに寄与できるようなバイオマスタウン構想の策定を進めていきたい。

乙島にはさまざまな自然エネルギーを導入し自然探訪を行いながら地球環境を考えるエコアイランドとして利用者への環境教育啓発教材として活用してもらえ、町内小中学校における環境教育教材として、さらなる活用を期待している。



教育長 民俗資料の保存、活用は重要である。中央公民館民俗資料展示室には、約六千点の資料が収蔵され、特に小学三、四年生の社会科や総合的な学習の時間を利用して年間約三百人が閲覧している。学校の教材としての利用だけ

問 町にはかなりの民俗資料があり、一定は整備され、郷土学習の資料として生かされているようだが、未整理の部分もあり、町民の生活文化伝承に役立てられないのではなか。社会教育における位置づけと今後の方針は。

町長 自民党が党の五十年大会で憲法改正案を決定した。わたしは戦争する国にするためのものと理解しているが、町長は憲法改正をどう思うか。

町長の政治姿勢について 憲法改正については、国のあることで発言は控えたい。



戦争は二度としてはならないと思う。



民俗資料の活用は

教育長…展示方法を考慮し検討する

浜口 惇

一般質問

8名の議員が登壇！



歯科の日曜当番医院導入支援を

安田 新

町長…日南市と協議し検討する

問 日南市・東白杵郡歯科医師会から日曜当番医制度支援の要請があったと聞いている。どう対応するのか。

町長

歯科日曜当番医制度導入の財政支援の要請を受けた。今後、日南市と協議する。

医療関係制度について

問 済生会日向病院を利用する患者に他の病院を紹介しているという話を聞く。真の説明とその対応はどうする。

町長

研修医制度が変わり医師不足に伴う派

遣医師の引き揚げがある。今後県済生会役員会で医師の確保に向け強く要望する。

耐震検査について

問 耐震強度偽装問題が発覚した。そこで本町の耐震検査の耐震強度検査を実施すべき。

町長

県の調査で三千八百七十三件の構造計算書について偽造の形跡はなく、近年建築の町有施設は問題ない。安全確保が最優先なので、公共施設については耐震診断や必要に応じて改修など計画的に実施

木造住宅耐震診断事業実施の詳細について

黒木 裕

町長：3ヶ年で約100戸を実施予定

問 「門川町木造住宅耐震診断事業実施要綱」の概要や詳細、また町内の小中学校、町内の建築物の耐震強度は基準を満たしているのか聞きたい。

町長

同要綱は耐震診断を実施し、自己住宅の状況を知り、必要に応じて補強などの対策を講じること、大地震による被害の軽減を図れる。基本は町民自身が安全で安心して住める住宅や地震に強いまちづくりについて意識をもつて取り組む必要があると思う。現行の耐震規定はほぼ耐震性能を満たしており、昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を対象としている。3ヶ年で約100戸の耐震診断を予定しており、今年度は30戸の募集を行い、10人から申し込みがあった。申し込みを経て診断実施決定の合否通知書を送付する予定。診断費用は町負担が1万5千円、自己

町内の公共施設については安全性の確保は非常に重要な問題であると思うので、公営住宅をはじめ、役場本館、小中学校の危険校舎など耐震診断を実施し、必要なら改修や建て替えを行い、解消に向け年次の取り組んでいく。

町長

三位一体の改革による厳しい財政状況下でこれまで町民の福祉と町政発展のために町政執行に取り組んできました。今後はさらさまちづくりをめぐり、教育施設の充実、道路の整備、河川の改良、バイオマス事業による農林水産業の振興、商工業の振興など進んでいる。課題解決のためにも再選に向けて努力精進したい。

問

来年4月の町長選に再選をめぐりして立候補する考えなのか。



上納屋地区の信号機設置について

小林 芳彦

町長：関係機関に強く要望していきたい



信号機設置が望まれる上納屋地区

問 門川漁協から尾末などを通り国道10号に抜ける臨港通線と上納屋、下納屋などを通る中尾通線は、門川漁港を支える流通経路として多くの人が利用されているが、中尾通線南側には坂道があり、スピードが出やすく、かわえて臨港通線東側はカーブで見通し悪く、周辺住民は信号機の設置を望んでいるが、関係機関に働きかけできないものか。

町長 平成八年に点滅式が設置され、一定の成果が上がったが、周辺状況からすると

大事故が発生することから、町としても点滅式ではなく定期式信号機に変更してもらうように関係機関に要望している。県予算も厳しく、一般的な信号機設置費には一カ所当たり四百五十万〜六百万円程度かかるようである。信号機設置には事故発生状況などからみて優先順位を決めるそうです。今後も地区住民から要望の高いほかの二カ所の信号機設置と合わせて定期式信号機の設置を関係機関に強く要望していきたい。

教員 ①について安全を図るために通学路を集団下校か複数で登下校すること、下校時刻等変更が不審な場合には保護者への周知を徹底すること、また、下校指導を徹底すること、不審な声かけには素早く逃げる・叫ぶ・知らせるの徹底。対策は、通学路と周知、通学の確認と周知、通学

問 昨今子どもが犠牲となる事件が頻発しているが、本町の子どもへの安全対策を次の4つの視点から質問する。

①登下校の現状と対策
②保護者・児童等への啓発活動の現状
③①と②の問題と対策
④学校施設の安全対策

安全マップの作成・周知徹底お助けハウス、子ども110番の場所の周知、高齢者クラブとの連携も図っています。

②の啓発では、命の大切さを学級・学年集会・全校朝会を通して危険回避能力を育成。保護者には具体的な事例を基に学校だより、学級通信懇談会等での指導をしています。

③の問題点と対策ですが、地域が一体となつて不審者への監視の目を強めていることが第一であるので町民の協力を得て子どもを見守る安全監視体制の整備を進めています。

④の学校施設等の安全対策は、各学校で危機管理マニュアルを作成し、そのな

でかけるときのキーワード。

1. しらぬ人についていかない
2. しらぬ人のくるまにのらない
3. おおごえをだす
4. すぐにげる
5. おとなにしらせる

これをつなげて「いかのおすし」だ。



町長..安全監視体制の整備強化を進める

平田 真文

か得不審者への対応として職員等の危機管理意識の改革、不審者進入時の非難訓練や撃退法研修会の実施、関係者以外の学校立ち入りの際の記入等あらゆる場面で想定して安全対策を行っていきます。

児童生徒の安全対策は万全か



済生会日向病院の診療体制について

内山田善信

町長：病院閉鎖の予定はないと聞く

問 児童生徒の安全確保について最近、子供が犠牲

町長 内科の患者を他の病院に紹介しているのは事実、これはあくまでも医師の不足によるものであるとのこと。高齢者施設への移転の予定はなく、脳神経外科については、設備は整っているため、医師の確保が出来次第再開したいとのこと。

になる事件が連続しておきている。このような事件は我が町でもいつ起きてもおかしくないと思うが、児童生徒の安全対策は、

教育長 学校と教育委員会は連携をとり、児童生徒の安全指導や保護者への周知など一体感を持って未然防止策を講じている。現在「子供見守りネットワーク推進会議」の発足に向けて準備中です。



かどがわ温泉「心の杜」

問 恩賜財団、済生会日向病院は、宮崎県にただ一つの支部、施設として創設された総合病院でありました。良質の医療を的確、迅速に真心をこめて提供する事が理念であるが、病院の充実・機能は十分か。

町長 日向病院はなくてはならない東北に根付いた地域医療の中心を成す病院である。住民の健康増進を図る意味からも施設の充実や医師の確保について関係機関に強く要望していきたい。又輪番病院として、二次救急医療の充実に取り組みで行く様提言していく。

問 済生会日向病院の充実

町長..ポイント制入館券を発行した

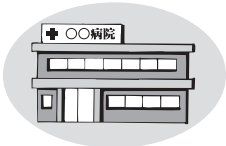
安田 修

かどがわ温泉の衛生管理とサービスは



問 塩素濃度の自動点検装置を設置したりしているようだが、その他の安全管理対策は。またスタンブカードの発行等その他のサービス検討はできないか。

町長 衛生管理対策として法律に基づいた水質検査を年二回、自主的な検査を年四回、その他必要に応じて確実にやっている。さらに定期的に温泉の配管清掃など実施し、安全、安心を最重要課題として取り組んでいる。又スタンブカードのポイント制による入館券のサービスを開始した。今後共、新たなサービスシステムを導入も考えている。



11月28日、第4回臨時議会が開かれました。

承認

乳幼児の医療費支援について
対象年齢が0歳から6歳に達する日以後最初の3月31日までに
自己負担額を350円にするもの
(原案可決)

議員の給与改正

扶養手当月額500円引き下げる
勤勉手当を0・05月分引き上げる
(原案可決)

副議長選挙

寺原速美副議長の逝去により副議長の選挙を行いました
朝倉利文議員が投票の結果副議長に選出されました



(原案可決)

議案
議員の報酬を0・05月分引き上げる
(原案可決)

町長の給与を0・05月分引き上げる
(原案可決)
教育長の給与を0・05月分引き上げる
(原案可決)

◆常任委員会 (○委員長 ○副委員長)

委員会	氏名	委員会	氏名	委員会	氏名
産業建設	◎猪倉 照央	文教厚生	◎安田 茂明	総務財政	◎安田 修
	○内山田善信		○平田 真文		○黒木 裕
	黒木 義秋		小林 芳彦		黒田 利治
	長友幸太郎		米良 昭平		浜口 惇
	安田 新		朝倉 利文		浜田 作男

謹んでご報告申し上げます



去る十七年十一月十日、寺原速美議員(六十二歳)が病気のため永眠されました。

故人は西門川三ヶ瀬出身で、平成六年五月より十二年六ヶ月の間、門川町議会議員として総務財政常任副委員長、産業建設常任委員長、総務財政常任委員長、そして副議長など数々の要職を歴任され、また議会外においては町消防分団長、町観光協会理事など幅広い活躍をされてきました。

志なかにして亡くなられたことは、誠に残念の極みでございますが、心からご冥福をお祈りして、哀悼の意を表したいと思います。

門川町議会

時局講演会

去る、12月5日(月)に町村議会議長会主催による講演会が県内の町村議会議員を対象に本町総合文化会館において開催されました。以前女優として活躍され現在は農政ジャーナリストとして全国をとりまわっていらつしやる浜美枝さんを講師に迎え、「自然がまちをおこす」という演題で行われました。

内容は、自ら過疎の農村に住居を構えて、米、野菜作りに挑戦した経験話、雑誌の取材や講演などで全国を旅しながら、地域の活性化や農業そして食などへの問題提起を行った話、最近の日本国はおかしくなっているの自然の恵みを今一度見直し、昔ながらの生活の智慧を再考して次世代へ何を残すのか、残せるかを追求すべきではないだろうかという前向きな意義深い話が多くの十分に感銘を受けた次第です。



文教育生常任委員会

所管事務調査

平成17年11月10日に、公害防止協定書の見直しのため日向化学工場の現地調査を行いました。

旭化成ケミカルズ日向化学工場が平成17年5月に既設の24トンボイラーから2トン・4基のパッケージボイラーに更新したことであります。更新の経緯につきましては、昭和49年から製造しておりました「トリクロロエタン」(後のエタナ)が平成14年5月に生産停止になったことにより、工場での洗淨剤



撤去される煙突

議会のつぎ

- 10月7日(金) 東臼杵郡幹部研修
- 13日(木) 宮崎県町村議会議長会臨時総会
- 21日(金) 宮崎県町村議会議長会議員大会
- 22日(土) 九州横断自動車道延岡線建設促進中央大会
- 23日(日) 歌碑祭
- 11月1日(火) 福祉ふれあい祭
- 18日(金) 東九州自動車道建設促進大会
- 14日(月) 地方分権改革総決起大会
- 22日(火) 五十鈴川流域森と水を守る協議会設立総会
- 24日(木) 日向市・東臼杵郡南部町村議会議員協議会第2回理事会
- 12月2日(金) 第49回町村議会議員大会
- 5日(月) 九州横断自動車道延岡線建設促進大会
- 12月2日(金) 門川町高齢者クラブ大会
- 13日(火) 時局講演会
- 14日(水) 本会議(開会)
- 21日(水) 本会議(一般質問)
- 21日(水) 本会議(最終)

*今回より、議会広報編集は「翻訳作業」と考え、「行政用語」の使用を減らし、努めて「分かりやすい用語」を使用していきます。今後ともよろしく申し上げます。

ぎがいフラッシュ



正月に向けた餅つき



フリーマーケット（勤労者体育センター）



福祉ふれあい祭り（社会福祉協議会）



やっちみろや「健康づくりウォーキング」



クリーンアップ宮崎（海浜公園）

編集後記

開きましておめでとうございませう
ごきげんよう
議員一同



◆近ごろの正月の風景は、昔のそれとは異なってきました。ちよつと寂しい気がします。
（内山田善信）

◆ウォーキング ただ歩いて
いると楽しい いろんな人
と友達になれる
（米良 昭平）

◆新年を迎えて願う事は平和
で事故・災害の無い一年で
ありますようにということ
だけです。
（黒木 裕）

◆最近、何をやるのもまずは
体が基本とを感じるようになって
きました。
健康管理に気をつけて頑張り
ます。
（小林 芳彦）